

獨創的車輛を有せる

地下鐵道の印象

鐵道技師 今 泉 恒

相當大きな期待で待つて居た地下鐵道が其の總てに於て裏切られずに氣持のよい明るい氣分で安全迅速に地下を行かしてくれたことは大成功と云ふてよいと思ふ。

自動入口、珍しい電燈のついてゐる思つたより明るいホーム、黄色に塗つた物珍しい電車、氣の利いた服装の従事員、蔭の出来ない照明を使つた車室、靜かに音もなく速く走る電車等、設備に於て、車輛に於て、總べて最新のものを採用し、しかも所謂博覽會流とならなかつた行き方は、本邦最初の地下鐵道の歴史に錦上花を添へた感があつて嬉しい事である。

○

電車の構造は劃時代的のもので、特に次の事等は注目に値するものである。

- (1) 間接照明を採用してあること
- (2) 電車走行中の雑音の低きこと

この二つは世界に向つて誇るべきもので、殊に(1)の間接照明の採用は現在世界各國何れにもみる事の出来ないもので、實に車輛界最初のものである、(2)は實に世界にその比をみざる静けさである。

- (3) 車輛各部が耐火的に製作されてあること即ち車室内外は鋼板を以て張られ、床は不燃燒の練物を以て張詰められ、たゞ車體床下の電動機その他電氣機械より發火するところがあるとも、乗客に對しては些かの懸念もないことである。
- (4) 釣革や車體側出入口に戸閉装置を使用して居る事は、歐米一流の地下鐵道と同様であるが、特に側引戸の戸當り側のゴムの上に體裁のよい皮を以て蔽ふてあ

る事等は他に類例を見ざるものである。

○

上野淺草の終端驛で、電車の發着ホームが二つあつて、入口が一方にしかない停車場のあること、一般に乗降場の奥行のない事等は、大いに考へねばならぬ事である。

構内車内に生ずる地下鐵獨特の悪臭も今はないが段々使用するにつれて出てくると思ふし、現在でも頻繁な折返し運轉のため混雜時等は、車内が殊更むつこする様であるが、之等は、停車場の構造、車の取扱ひに依つて充分緩和される事と思ふから、之等の點を考慮されん事を希望する。

○

なほ慾を言へば、地表から地下に下つて行くといふ一種傳統的の嫌な氣持をなくするのに何等の方法を講じてない事や、工事中は云へ路の悪い事、出入口の特に狭い事は地下に見事な構内を持つ地下鐵道としては遺憾の點である、併し本工事が終れば何れ相當のものになるであらう。

最後に外國の地下鐵道の比較感を言へば次のやうになる。

紐育の地下鐵道、

ホームに紙屑が散亂してゐる。電車が眞黒に塗つてあつて重苦しく感受される。音響が非常に喧しい、對話等ははてんで不可能だ。

巴里の地下鐵道

明るくて少々よい。が、ザワついてゐる。

倫敦の地下鐵道

臭い、車が小さい、せまつくるしい。

伯林の地下鐵道 明さが不足、陰氣臭い。